

揺れやすさマップの凡例

色	計測震度	震度階級	状況
■	6.50未満 6.25以上	6強*	●人の感覚 立っていることができず、はないと動くことができない。 ●建物内の状況 固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。
■	6.25未満 6.00以上	6弱*	●人の感覚 立っていることが困難になる。 ●建物内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
■	6.00未満 5.75以上	6弱*	●人の感覚 立っていることが困難になる。 ●建物内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
■	5.75未満 5.50以上	6弱*	●人の感覚 立っていることが困難になる。 ●建物内の状況 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
■	5.50未満 5.00以上	5強	●人の感覚 非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる。 ●建物内の状況 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。

*震度「6強」、「6弱」は、計測震度の値から2段階に区分します。
計測震度とは、地震計から直接得られる揺れの指標で、震度を数値で表したもの

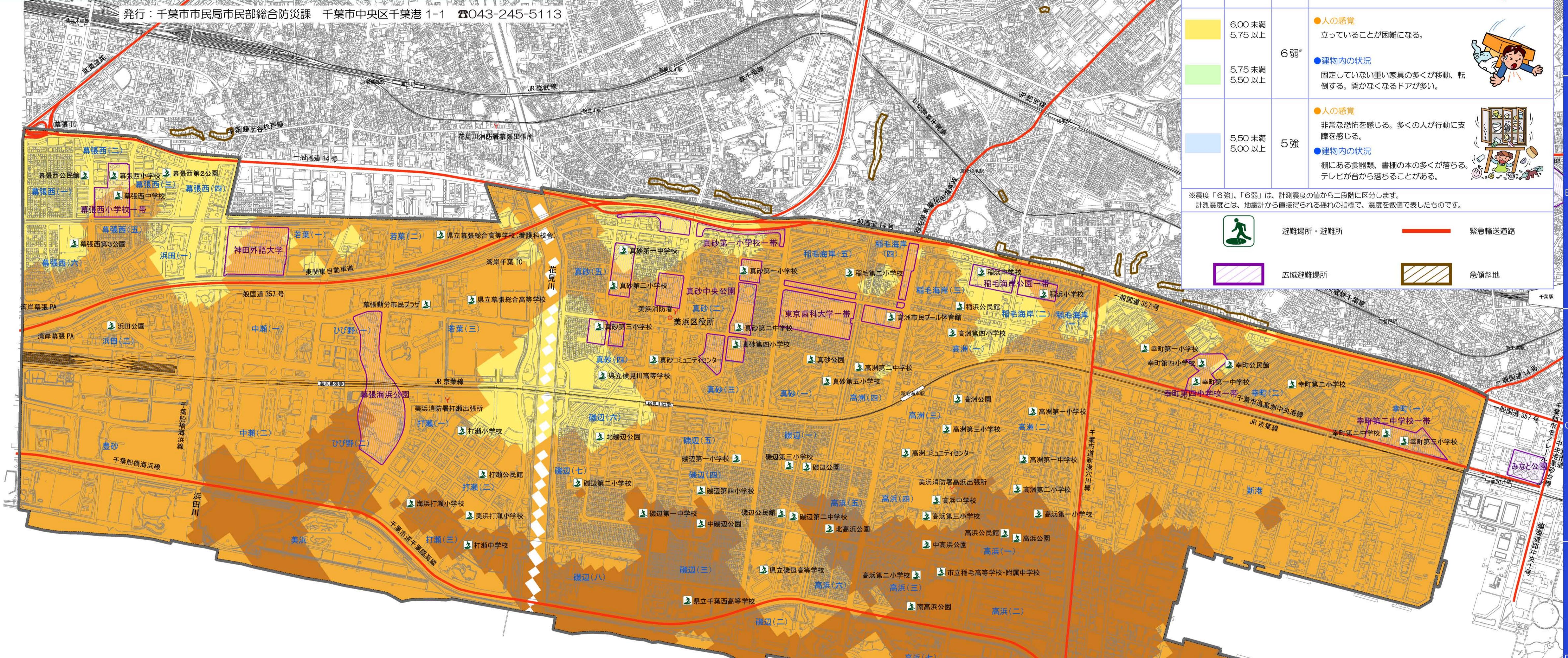


千葉市地震ハザードマップ

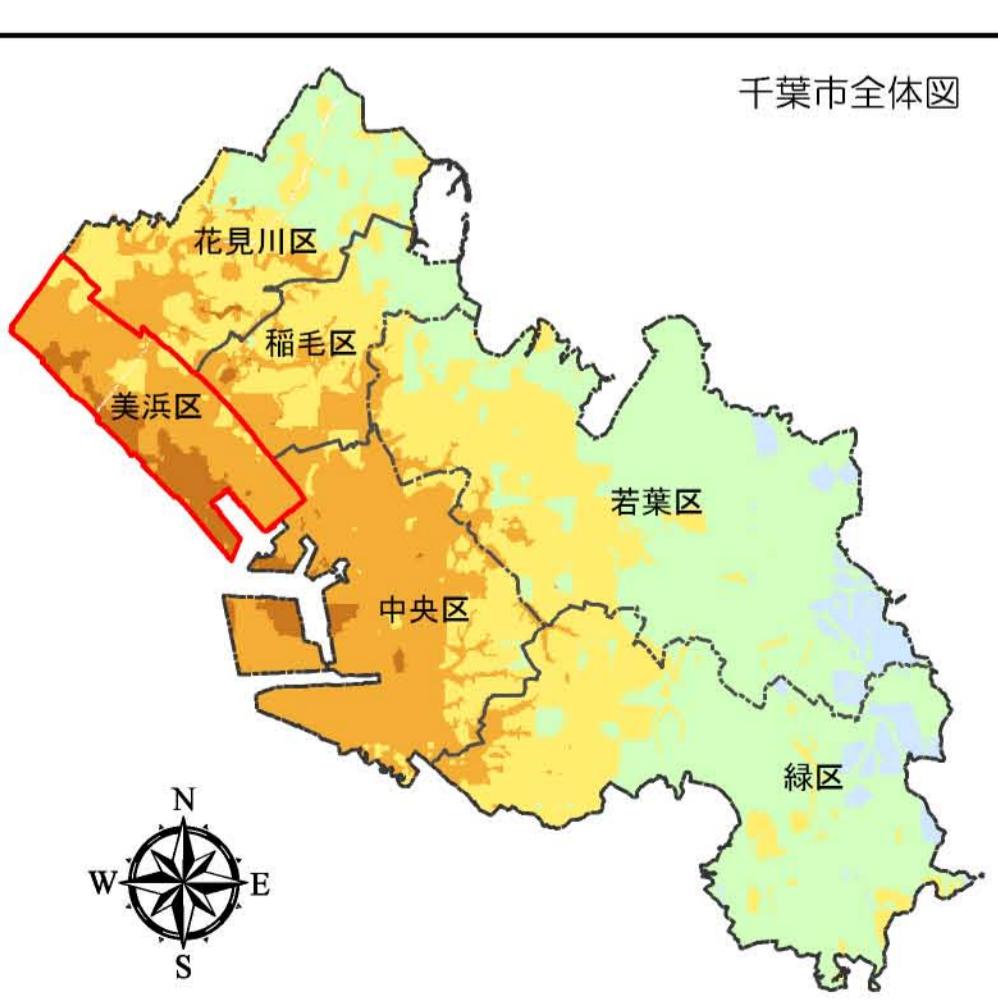
美浜区

揺れやすさマップ

発行：千葉市市民局市民部総合防災課 千葉市中央区千葉港1-1 ☎043-245-5113



千葉市全体図



揺れやすさマップについて

揺れやすさマップは、東京湾北部地震（想定マグニチュード7.3）が発生した場合の震度分布を50mメッシュ単位に色で表示したものです。

- «このマップの活用方法»
- わが家が建っている地盤の揺れやすさをチェックしましょう。
- 大きな家具や就寝場所など家中の危険な所をチェックし、必要に応じ家具の転倒防止対策等を行いましょう。
- 避難経路や避難場所を確認し、家族・地域で避難方法などについて話し合っておきましょう。

注意点

- ・このマップに示す震度は、震源の位置や地震の規模を仮定したものであり、地震の発生の仕方によっては、これより強くなったり弱くなったりすることがあります。あくまでも予測結果であることを理解したうえで、防災対策にご活用ください。
- ・このマップの背景図として使用した地図（千葉市都市圏図）は、平成14年3月に作成されたものです。したがって、一部現況と異なる場合があります。

○問い合わせ：総合防災課 ☎043-245-5113

0 0.5 1 2 3 km

